

活動結果報告書

令和8年5月29日

越前市議会

議長 大久保 健一 殿

議員氏名 橋本 弥登志

下記のとおり報告します。

日 程 令和8年5月25日(月曜日)

活動先 橋本やとし かわら版 第17号 令和8年夏号

活動目的 越前市の取り組みや今後の政策を市民に伝える

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要（不足のときは、補助用紙を用いる。）

印刷業者 有限会社ワープロセンターホープ

支払金額 88,000円

発行数 2,900部

内 容 別紙のとおり

配送業者 日本郵便株式会社

配送料 171,936円

配送数 1,791通

橋本やとし かわら版

いつものご支援、大変ありがとうございます。

最近、全国各地で山火事や地震などの自然災害が相次ぎ、さらにクマの出没といった身近な危険も増えています。ニュースで見ると「どこか遠くの出来事」のように感じてしまいがちですが、実際には私たちの暮らしのすぐそばで起こりうる現実です。

だからこそ、備えること、知ること、そして地域で支え合うことがますます大切になっています。“自分には関係ない”ではなく、“自分たちの暮らしを守るためにできることは何か”一人ひとりが考え行動する時期に来ているのだと思います。私たちみんなで考えていきましょう。



令和8年3月 一般質問

下水道事業について

- Q** 公共下水道事業や農業集落排水事業など、各事業の経営状況はどうか？汚水処理人口の推移を直に影響を受けるのが処理場だと思うが、汚水処理経費の見通しは？
- A** 汚水処理に必要な経費に対して使用料収入が不足しており、公共下水道事業・特定環境保全公共下水道事業・農林業集落排水事業・戸別公共浄化槽事業など合計で1億9千万円の不足である。これらの不足分については、市の繰入金いわゆる税金により補填されている。
- Q** 使用料改定を検討するのに、収益的収支・資本的収支の課題は何か？前回は、使用料をいつ改定したのか？
- A** 前回の使用料改定は、平成16年に行った。これまで経費削減や収益改善の取組みを進め、一般会計からの繰入金を受けながら、可能な限り使用料の引き上げを抑制してきた。経営上の課題としては、①汚水処理に必要な費用を下水道使用料で賄えていない。②物価高騰による経費と施設の老朽化による更新費用の増加。③一般会計繰入金がなければ経営が難しいなどである。繰入金により補填することの課題は、下水道を利用していない市民の税負担につながるほか、一般財源を必要とする道路・橋梁の維持管理、福祉施策などの行政サービスの低下を招く恐れがある。

現使用料についての課題

- ・汚水処理に必要な費用を下水道使用料で賄えていない。
- ・国の地方財政措置の基準とされる、下水道使用料月 3,000 円 / 20 m³を下回っている。
(※越前市月 2,430 円 / 20 m³)
- ・施設を維持するためには、物価高騰や施設の改築更新に多額な費用が必要となるため、将来の更新費用の財源を確保する必要がある。
- ・使用料改定を含めた経営改善が必要。

汚水処理人口の見通し

人口減少に伴い、処理区域内人口及び水洗化済人口ともに減少が見込まれる。

適正な下水道使用料の考え方

	使用料対象経費	
(経費)	汚水処理に必要な経費 949,866千円	
(財源)	下水道使用料 760,668千円	不足額 189,198千円

副市長2人体制について

Q これまでの4年間の効果・成果はどうか？

A 副市長については、北陸新幹線越前たけふ駅の開業に向け、新駅周辺の土地利用開発、企業誘致等を強力に推進するため、令和4年から2人体制を取ってきた。この4年間、副市長を2人体制にし、役割分担をしながら業務を行うことで、各副市長の専門性が生かされ、市の仕事を強力に進めることができたと認識している。

Q 県内の状況は？また、これからはどうするのか？

A 県内9つの市のうち、本市をはじめ、福井市・敦賀市・鯖江市・坂井市の5市が、副市長を「2人」または「2人以内」で置く体制を採ってる状況である。副市長2人制は、各副市長が専門性を発揮し、事務を分担することで、トップマネジメント機能が強化され、スピード感をもって行政施策を推進することができる。今後も、新幹線駅周辺整備や企業との交渉、新幹線駅へのアクセス手段の確保など、重要な課題は続いていく。また、市長が就任したばかりであり、当面は2人体制を継続していきたいと考えている。



3月補正（委員会質疑）

Q しきぶ温泉湯楽里の改修について、昨年からの壁の崩落事故など数件あり現在営業休止ですが、今後の見通しは？

A 現在は湯楽里の浴室改修のため、当面休みとなっている。今後は、湯楽里整備検討委員会を立ち上げて検討していく。方向性としては、以下の4点が考えられる。これらを軸にあらゆる可能性について検討を進めていく予定。

- ①大規模修繕を実施して耐用年数まで継続実施
- ②施設規模を縮小して継続
- ③施設機能の転換（新たな施設活用）
- ④施設廃止



令和8年3月 消防組合議会定例会 一般質問

消防音楽隊について

Q 南越消防組合の消防音楽隊が令和8年3月末で解散となるが、音楽隊の果たした活躍は大きい。今後はどのように予防啓発していくのか？残された音楽機材もあるので、地区の消防団員での音楽隊結成もいいのではないかと。

A 救急出場件数は全国的に増加しており、昨年の救急件数は組合発足以来最多の4,463件で20年前の1.7倍にもなっている。また、ドクターヘリの要請も増加するなど、音楽隊の人員と練習時間を確保することが困難となり、活動を終了することとなった。今後は演奏による広報から、Instagram等のSNSを活用した広報に切り替えていきたい。



お問い合わせ

越前市牧町18-30-2

TEL 090-2123-7155 FAX 0778-67-7487

最新の活動情報を発信しています！
ぜひフォローをお願いします。



Instagram



Facebook

